

2024年3月20日開催

日準協広報・啓発イベント「罪を犯した人の立ち直りを支える地域のチカラ」

参加者アンケートのまとめ

Q 今回のイベントの開催をどのように知りましたか？（あてはまるものすべてを選んでください）

チラシを見て

新聞を見て

日本自立準備ホーム協議会のホームページを見て

京都大教育学研究科のホームページを見て

Twitterでの告知を見て

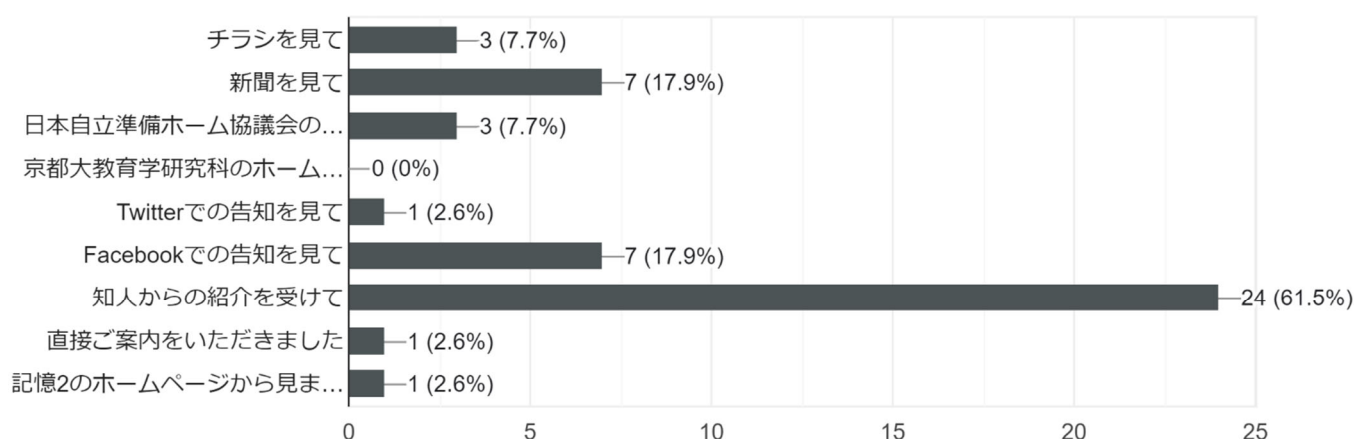
Facebookでの告知を見て

知人からの紹介を受けて

その他...（「直接ご案内をいただきました」1名、「記憶2のホームページから見ました」1名）

今回のイベントの開催をどのように知りましたか？（あてはまるものすべてを選んでください）

39件の回答



Q 総合的にいって、今回のイベントは満足でしたか？

非常に満足

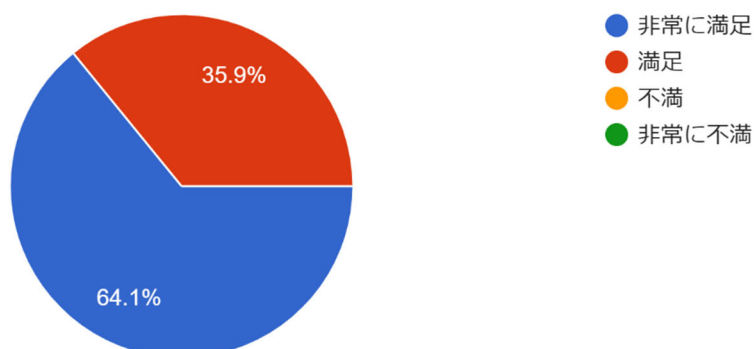
満足

不満

非常に不満

総合的にいって、今回のイベントは満足でしたか？

39件の回答



Q 今回のイベントについて、あてはまるものすべてを選んでください。

映画「記憶2」が良かった

トークセッションが良かった

自立準備ホームのことがわかった

刑務所・少年院等から出所した人の社会復帰の困難さがわかった

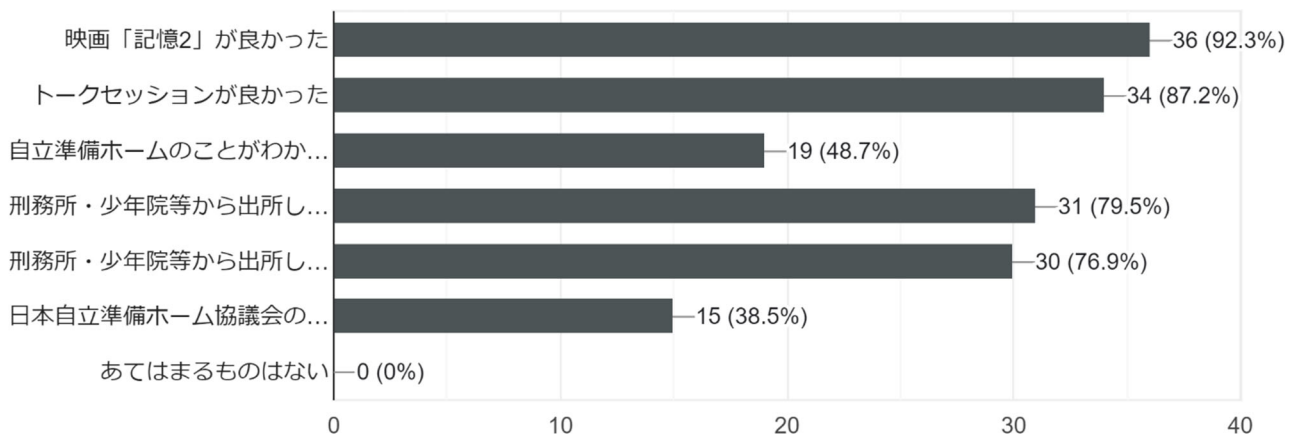
刑務所・少年院等から出所した人を地域社会が支援する環境が整うことが重要だとわかった

日本自立準備ホーム協議会のことがわかった

あてはまるものはない

今回のイベントについて、あてはまるものすべてを選んでください。

39件の回答



Q 今回のイベントで、特に印象に残ったことはありますか？ 自由にご記入ください（記された原文そのまま）

- 一度犯罪に手を染めるとそこから抜け出すのはむずかしいと思った
- 今まで少年院の中の子の支援をしたいと思っていたのですが、出た後が大変なんだということが改めてわかりました。わたしも自立準備ホームの運営に興味を持ちました。
- モデルができた。
- 人は変われることを知ってもらえた。自立準備ホームの周知理解につながった。
- 登壇者の言葉が心に刺さりました
- 少年たちの言葉は何にも勝る学びになりました。
- 「親が子供を殴っても捕まらないのに子供が親を殴ったら捕まるのはおかしい」という入院者の言葉です。
- 映画はずっと涙を堪えて観ました。カメラで撮ってたおばさん、母親の店に言って話した友達のお母さんに自分を重ねて、何ができるんだろうと思ったり、非行の引力に代わる強い何かが必要なのだろうけれど、ふつうの人たちが他人の子供に関わることでしか変えられないようにも感じています。出演してくれた少年たちの語る言葉が凄くて、本にもしてもらえたらいいな、とも思いました。
- どの少年も自分の思いをきちんと伝えられている姿を見て、ちょっとした環境の違いなどで非行に陥ってしまうことに改めて気付かされました。
- 記憶2を観て、涉くんがなぜ再犯を犯してしまったのか。こうたくんの両親のような再犯が起きてもおかしくないと思ってしまうけれど、涉くんの両親は彼を支えて行こう、寄り添おうというように見えた。親はどうすれば「味方だよ、頼ってよ。愛してるよ」という気持ちが子供に伝わり、家に居場所を見い出してくれるのでしょうか？
- 映画のメッセージと監督の言葉
- ちょっとした弾みで罪、再犯を犯してしまうということ。適切な支援で素直に立ち直りもできること。
- 子どもがではなく、大人が社会が変わらなければ、とご登壇の先生方からの言葉が印象的でした。
- トークセッションで「損を背負うから回る」、「世の中捨てたもんじゃない」という言葉です。日々の中で忘れていた言葉でした。それは日常では周囲がみんな自分の子どもは大丈夫と思っているように感じるからでしょうか。私自身、子どもの荒れでいろんな人に支えてもらったからこそ感慨深い言葉であるのだろうと思いました。
- 記憶2では、リアルな少年たちの状況が伝わってきました。現在、自殺対策の仕事をしているため、滉太くんが親に見捨てられるようなことを言われて首を吊ったのが印象的でした。家庭環境でいろいろなしんどさがありながらも見過ごされて犯罪に至り、出院後もいろんな社会の壁があることで死もとても身近なんだと

思います。私が今の現場で出会う相談者にも通じる姿を見せていただき、もっと理解し寄り添えるようになりたいと思いました。トークでは、自立準備ホームの皆さまが大変なケースも引き受けておられることがわかりました。

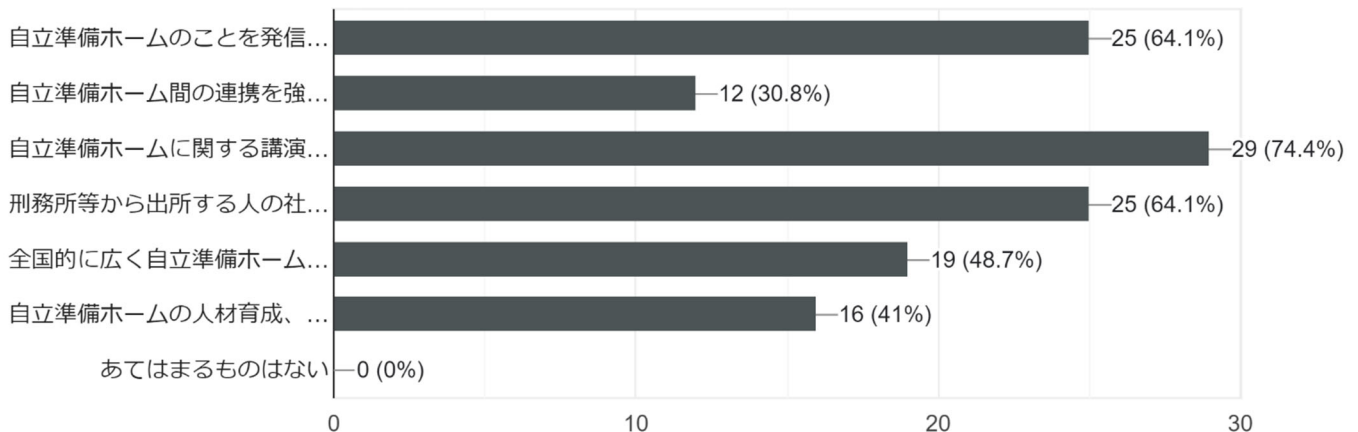
- インタビューが少年院たちの語りを共感的に聞き、引き出し、励まし、そしてよい回復のモデルとなっており、ピアの力を大ききさを感じるとともに、矯正の現場で、もっとその力が発揮してもらえるようになればいいのと思いました。
- 少年犯罪の要因は親（父親）と友人にあると思いました。
- 映画について、青年少年たちの、思いを言葉にする力があることを、感じました。客観的な視点や、自分に向き合うことの大切さを感じました。それから、少年院にいるときに出産すると赤ちゃんとすぐ引き離されてしまうというお話は非常に衝撃でした。どうにかできないものでしょうか。強く思います。
- この素晴らしい映画を公開に至らせた皆様の想いとお力に敬意を表します。トークセッションに登壇されたすべての皆様のお人柄と活動への姿勢がとても魅力的に感じました。この電話に出たら今日の仕事が・・・という葛藤よくわかります。その上でできる範囲の手助けをしたいとしたいと誠実に伝えて実行されていることが素晴らしいと思います。多くの熱意あふれる支援者の皆様の活動に接している立場として、支援者が疲弊し切らなないための支援者の支援の重要性を痛感しています。最後に、主題歌に PERSONZ の「DEAR FRIENDS」を選ばれた理由と、野田さんが真似された特攻服のデザインがどのようなものだったのかを質問したかったのですが、恥ずかしく恥ずかしくて手を挙げられなかったことを後悔しています。本日は素晴らしい企画をありがとうございました。
- 親は子を殴っても捕まらないのに、子どもが親を殴ると傷害になる理不尽。でも… 子どもが変化しているというより、社会が変化していて親が変化してうみおとされた生きづらい子どもたちという視点
- 保護司です。対象者からの親は暴力を振るっていいの？という言葉が重なって参加させて頂きました。個人的には、保護観察と少年院送致の狭間、精神的に親に捨てられた子供達の自立準備ホームがあればと思うのですが、難しいですね。
- さまざまなこどもの環境、外に出たあとの不安、行き場のない不安、相談や頼れない何かをいろいろ感じました。
- トークセッションがとても良かったが、もっと時間があればなお良かった。
- 撮影の裏話、特にインタビューを受けた際の少年の表情変化を観客に見せたかった、と監督が話されたこと。
- 記憶2の上映会で、心に残る言葉が多くあった。
- 皆さんの想いや戦いがあってこういう映画やイベントな存在できたと感謝しています
- 映画で「先のことを全く考えてなかったが、立ち止まって自分の意思で変われるとわかった」と少年が行ったこと。
- 少年達のひととしての本性の佳さと、生育環境のあまりの厳しさを思います。2、インタビューアーは悟し導くのではなく、もっともっと、少年達の思いをじっくり聴いて、自ら軌道修正して行く方が確かで、真の助けになるのでは？！
- すえこさんが、少年が約束に来なかったとしても少年に怒りを向けずに自分がまだまだ信用されてないと言っていて、世の中の大人でそんな自分に責任を感じれる大人がいるって凄いなと思い、私もそんな大人になっていこうと思えました。
- 良くない親も子ども、社会が生み出しているという指摘について、だからこそ、社会全体で取り組んでいく必要がある、ということが腑に落ちた

Q 「日準協」の活動について、あてはまるものすべてを選んでください。

- 自立準備ホームのことを発信してほしい
- 自立準備ホーム間の連携を強化してほしい
- 自立準備ホームに関する講演会などを開催し一般市民を啓発してほしい
- 刑務所等から出所する人の社会復帰を支援してほしい
- 全国的に広く自立準備ホームが機能するよう支援してほしい
- 自立準備ホームの人材育成、研修を充実させてほしい
- あてはまるものはない

「日準協」の活動について、あてはまるものすべてを選んでください。

39件の回答



Q その他、「日準協」の活動に対するご要望・ご意見等を自由にご記入ください（記された原文そのまま）

- 個人的に京都でケアラー条例を制定する動きに参加しています。子供の時に置かれている環境についてスクリーニング、アセスメント、トリアージされハイリスクと思われる子供さんに集中的に支援をするしくみが必要ではないかと思えます。私は介護殺人をなくしたいと思っていますが、現在、障害を持つ親やヤングケアラーの会などが連携をしています。地域により、担当者によりアセスメントが違うことで助けられる人とそうでない人がいるというのが問題かと思えます。可能ならばケアラー条例にも関心を持ってもらえればと思います。
- 自立準備ホームの立ち上げを考えている人向けの支援だったり情報共有だったりの場があれば嬉しいです。
- 頑張ってください。
- 本当にお疲れさまです。もっともっと自立準備ホームの取り組みが円滑に進むよう、心して取り組んでいきたいと思えます。
- 日々苦勞の多い中、素晴らしい活動に尊敬いたします
- それぞれの自立準備ホームの特徴がわかるようなシステムづくりが必要と思えます。
- 自立援助ホームの基礎知識がないので、一般市民も学べる機会があると嬉しいです。
- 映画も含めて実のある話でした。大変よく伝わり、活動されている原動力にも感動しました。行政だけではこうはいかないと思えます。根本の大人の黒幕を絶ちたい思いです。
- これまで全く知らなかったもので、多くの人に知ってもらう必要があると思えます。
- ごく普通の子育て中の主婦です。これまで学校も勤務先も福祉とは無縁でしたが、支援という仕事の必要性を強く思い、最近になってなにかできないか、と思い色々調べたり講習に出向いたりしております。しかし、専門の資格や知識もなく、自分が重い虐待や貧困や犯罪とは関わらずに平凡に生きてきたため、当事者の人たちとの理解を深めることができるのか、など、なにかしたいと思いつつも、ハードルの高さを感じます。
- 今回のような企画に感謝です。会場に寄付金額箱とはあえて置かないのでしょうか？
- 京都府内の児童自立支援施設に勤務しています。映画を職員や子どもに見せてやれないかと思えますし、トークセッションに出られた方で職員研修をしてもらえば大変勉強になるだろうと思いました。
- 保護司会で貴協会の存在、活動内容を紹介します。
- 感謝とリスペクト
- 困難に有る少年達ひとりひとりに少年院に在院中から手厚く心理士やソーシャルワーカーが支える手立てが取れると佳いのでは。

あなた自身について、差し支えない範囲でお知らせください

Q お住まいの都道府県はどちらですか？

39 件の回答

京都府 46.2%
大阪府 23.1%
兵庫県 10.3%
その他 20.5%

Q あなたは、次のうちどれにあたりますか？ 主たるものひとつをお選びください

39 件の回答

自立準備ホーム事業者関係者 —
更生保護施設関係者 —
更生保護関係の行政職員（保護観察官等） 5.1%
保護司 5.1%
更生保護女性会関係者 —
BBS 関係者 12.8%
福祉関係者 20.5%
矯正関係の行政職員 —
矯正・保護以外の行政職員 5.1%
司法職員 —
弁護士 2.6%
研究者 5.1%
一般の市民・学生、その他 43.6%

（以下、更生保護関係の行政職員（保護観察官等）の方のみ回答）

Q 「日準協」に期待していることはありますか？ 自由にご記入ください

- 今の取り組みをもっともっと進めてください
- 自立準備ホームが利用者を支える質の確保向上

Q 「日準協」について懸念されていることはありますか？ 自由にご記入ください

- ありません